

助成金情報

 令和3年 3月

気仙沼市民活動支援センター
〒988-8501 宮城県気仙沼市八日町1-1-10
ワンテン庁舎1階気仙沼市震災復興・企画部 地域づくり推進課内
TEL：0226-22-6600(内335) FAX：0226-24-1226 MAIL：k.npokk@gmail.com

No	対象分野	実施主体・名称		締切日時	ホームページ
		対象活動	対象団体	助成金額	申請方法
1	環境関連	公益社団法人国土緑化推進機構 「2021年度 緑の募金」		令和3年3月15日（月）	<input type="text" value="緑の募金 募集"/> <input type="button" value="検索"/>
		【一般公募事業】 ①森林設備/緑化推進 ②国際協力 【次世代育成公募事業】 ③次世代の森づくりを担う人材育成事業 【都道府県緑推推薦事業】 ④子どもたちの未来の森づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> 自主的、組織的な活動で事業を完遂できる 交付金の使途に係る条件遵守が確実であること 営利を目的としない民間団体で、次の要件をすべて満たしていること <ul style="list-style-type: none"> 定款、寄付行為に準ずる規約を有すること 団体の意思を決定し、要望に係る活動を執行する組織が確立していること 自ら経理し、監査することができる会計組織を有すること 活動の本拠として事務所を日本国内に有すること 反社会的勢力ではないこと 	①、③1事業あたり上限200万円 ②1事業あたり上限300万円 ④1事業あたり上限100万円	WEB
2	福祉関連	社会福祉法人 NHK厚生文化事業団 第33回 地域福祉を支援する「わかば基金」		令和3年3月30日（火）必着	<input type="text" value="NHK わかば基金"/> <input type="button" value="検索"/>
		地域に根ざした福祉活動を展開しているグループが、活動の幅を広げるための活動 ①支援金部門 ②災害復興支援部門 ③リサイクルパソコン部門	日本国内に拠点があるグループを対象とします ①国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ ②・東日本大震災以降に激甚災害指定を受けた自然災害の被災地に活動拠点があり、福祉活動を通してその地域の復旧/復興をすすめているグループ ・被災地に必要な新たな福祉事業を展開したい、と考えているグループ ③パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害者に役立ち、活動の充実を図れるグループ	①、②1グループあたり上限100万円 ③1グループにつき上限3台まで	郵送
3	まちづくり関連	公益財団法人東日本大震災復興支援財団 「ユースアクション東北」		令和3年3月31日（水） ※毎月末日に申請締切	<input type="text" value="ユースアクション東北 助成"/> <input type="button" value="検索"/>
		東北の高校生を中心とする若者（中学生、高専生、専門学生、大学生）が、自分たちの力で地域の復興や活性化のために行う活動	<ul style="list-style-type: none"> 2名以上のチームであること メンバー全員が原則として高校生を中心とする若者（中学生、高専生、専門学生、大学生）であること 岩手県、宮城県、福島県に居住していること 	1件あたり上限30万円	メールまたは郵送
				〒102-0093 東京都千代田区平河町2-7-4 砂防会館別館5階 公益社団法人 国土緑化推進機構 募金担当：日高 TEL：03-3262-8457 / FAX：03-3264-3974 E-mail：bokin@green.or.jp HP：http://www.green.or.jp/bokin/	
				〒150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 社会福祉法人 NHK厚生文化事業団「わかば基金」係 TEL：03-3476-5955（受付時間：平日10：00～17：00） E-mail：info@npwo.or.jp	
				〒105-7317 東京都港区東新橋1-9-1 東京汐留ビルディング13階 公益財団法人 東日本大震災復興支援財団「ユースアクション東北」担当者 TEL：03-6889-1560 / FAX：03-6889-1568 （受付時間：平日10：00～19：00） （代表電話は12～13：00の間と、17：45以降はつながりません）	

※詳細については、各団体の募集要項をご覧ください

4	まちづくり 関連	公益財団法人あしたの日本を創る協会 「生活学校助成」		令和3年3月31日（水）必着	あしたの日本 学校 助成 <input type="button" value="検索"/>
		身近な地域や暮らしの様々な課題について、学び、調べ、話し合い、他のグループとも協力し合いながら、実践活動のなかで解決し、生活や地域や社会のあり方を変えていく活動	①及び②の両方に該当する団体 ①身近な地域や暮らしの課題解決に取り組む地域活動団体 ②全国の生活学校が連携して行う全国運動に参加する意向のある地域活動団体	①1件あたり 6万円 (初年度3万円, 2年目3万円) ②1件あたり上限5万円	下記のメールアドレスにご連絡のうえ、 申請書をお取り寄せください E-mail : ashita@ashita.or.jp
5	文化・芸術 関連	ポーラ伝統文化振興財団 「2021年度 ポーラ伝統文化振興助成」		令和3年3月31日（水）当日消印有効	ポーラ 伝統 助成 <input type="button" value="検索"/>
		①無形の伝統文化に関する保存/記録作成事業 ②無形の伝統文化の後継者育成/普及事業 ③無形の伝統文化に関する調査/研究 ④無形の伝統文化の復元/伝承事業 ⑤無形の伝統文化の保存ために欠くことのできない技術や原材料/道具などに関する伝承事業	・個人、団体いずれも申請することができる (但し、一個人、一団体につき一件の申請に限る) ・団体の場合、法人格の有無は問わない。但し、 永続性のある活動団体である事を原則とする	1件あたり30~200万円	郵送
6	環境関連	宝ホールディングス株式会社 「公益信託タカラ・ハーモニストファンド助成事業」		令和3年3月末日 必着	タカラ・ハーモニストファンド <input type="button" value="検索"/>
		・日本国内の森林、草原、木竹等の緑を保護、育成するための活動または研究 ・日本国内の海、湖沼、河川等の水辺の良好な自然環境を整備するための活動または研究 ・日本国内の緑と水に恵まれた良好な自然環境の保全及び創出に資するための活動または研究	・具体的に着手の段階にある活動/研究 ・営利を目的としない活動/研究 ・活動及び研究主体の資格は問わないが、次の条件を満たすもの 【個人の場合】 助成金の使途が助成の目的に沿って適確であり、当該事業に係わる施設の利用や助成金の使途等の面で本人あるいは親族など特別な関係のある者に特別な利益を与えない者 【任意の団体の場合】 助成金の使途が助成の目的に沿って適確であり、代表者または、管理者の定めのある団体で、役員その他機関の構成、選任方法、その他事業の運営に重要な事項が、特定の者、あるいは特別の関係者等の意志に従わずに、運営されている団体。 また、特定の者等に特別な利益を与えていない団体	上限なし 助成総額500万円, 10件程度	郵送（簡易書留）